月目標…暑さに負けない食事をしよう

Table with columns: 日 (Date), 主食 (Main Dish), 牛乳 (Milk), おかず (Side Dish), 赤の食品 (Red Foods), 緑の食品 (Green Foods), 黄色の食品 (Yellow Foods), 栄養価 (Nutritional Value). Rows include dates from 1月 to 24日 with various meal items and images.

※ごはんは大麦入りです。

※食材の関係で献立を変更する場合があります。

食育だより 7月

こんげつ もくひょう
~今月の目標~

あつ ま 暑さに負けない食事をしよう

暑さに負けないためにも規則正しい食生活を

夏は高温多湿なので体の機能が約10%も低下します。食欲も減退 気味になるので次のポイント1~5を守るように心がけましょう。

ポイント 1 すいぶん ほきゆう ぎゆうにゆう むぎぢや 水分の補給は牛乳か 麦茶で!

ジュース、コーラなどはひかえめに。

ポイント 2 じゆうぶんきゆうよう てきど うんどう きそくただ しよくせいかつ 十分な休養、適度な運動、そして規則正しい食生活。

これが暑い夏を乗り切るための条件です。

ポイント 3 ちようしよくごぜんちゆう 朝食は午前中のエネルギー源です。必ず食べましょう。

たんぱく質、ビタミン類も忘れずに。

ポイント 4 こうしんりようさんみ も つ つけ くふう しよくぞうしん 香辛料、酸味、盛り付けを工夫して食欲の増進を。

あぶらりよう しようりよう えいよう かくほ 油を利用して少量でも栄養の確保を。

ポイント 5 やさい おお た 野菜を多く食べましょう。

ピーマン、にんじんなどの緑黄色 野菜を多く食べるよう心がけましょう。

給食センターのホームページはコチラから。献立表も見られます。給食の写真もあるよ!

夏の飲み物。なにを飲みますか?

冷たい飲み物がおいしい季節です。汗をかいた分、水分を補給する必要もありますが、甘いジュースや清涼飲料水などはたくさんの糖分が含まれています。よく冷やすと甘さを感じにくくなるため気付かないうちにたくさんの糖分をとることになってしまいます。

スポーツ飲料も同じこと。意外とたくさんの糖分が含まれています。

のどが渇いた時にはできるだけ糖分の入っていない麦茶や牛乳などで水分をとるのがよいでしょう。

熱中症予防に「水分補給」と「朝ごはん」!

ジリジリと照りつける強い日差しに、本格的な夏の到来を感じます。この時期、特に気をつけなくてはならないのが熱中症です。「いつでも・どこでも・誰でも」発症する可能性があり、重症化すると命を落とすこともあります。熱中症予防のために、日ごろから体調を整え、こまめな水分補給を心がけることが大切です。また、睡眠不足や朝ごはん抜きの方は、熱中症のリスクが高まります。早寝・早起きをし、必ず朝ごはんを食べましょう。

水分補給のポイント

水分補給の基本は水や麦茶で、汗をかいたときにはスポーツドリンクなども利用しましょう。

のどが渇いたと感じる前に飲む

コップ1杯程度をこまめに飲む

汗をたくさんかいたときには塩分も一緒にとる

ペットボトルは、飲みかけのまま放置すると細菌が増えて、食中毒を起こす危険性があります。口をつけたら早めに飲み切るようにしましょう。

水筒は、持ち帰ったらパッキン類を取り外して、それぞれ洗剤でよく洗い、しっかり乾かしましょう。

手作りで作ってみよう! 経口補水液

砂糖 20~40g 塩 3g レモン果汁 1/2個分

水10 透明になるまでよくかき混ぜる

(一度沸騰させた湯冷ましが良いです)

経口補水液は市販もされていますが、簡単に作ることができます。

たくさん汗をかく時にはよいと思います。ただ、家庭で作ったものは食中毒を防ぐ意味からも冷蔵庫で保存し、その日のうちに飲みきるようにしましょう。また、経口補水液を入れておく容器も、雑菌などが繁殖しないよう充分気をつけましょう。

飲み物から水分をとる事ばかり考えず、3度の食事をきちんと食べて食事からもしっかり水分をとるなど、上手に水分補給をしましょう。

7/7 七夕「そうめん」に込める願い

七夕には、「そうめん」を食べて邪気を払い無病息災を願う風習があります。これは中国の伝説と食べ物に由来するもので、もともとはそうめんではなく、「素餅」というお菓子が食べられていました。素餅は、小麦粉や米粉に水を加えて練り、縄のような形にねじったもので、そうめんの原型とされています。